

男女のちがいをなくす力ギ

祇園小学校 六年 吉浦 心愛

私は、武道に興味があります。剣道、柔道、空手などやってみたい習い事がたくさんあります。でも、私はお母さんに、「女の子がけがしたら大変だから、させたくない。」と反対されて、ピアノやバレエを習うことになりました。習い事には、いまだに男の子がするもの、女の子がするものというイメージ

があるように感じます。そのひとつがバレエです。私が以前通っていたバレエ教室には、男の子は四、五人ほどこしかいませんでした。お母さんが体験教室に誘っても、

「女の子だったら、行かせてみたいけど」といわれて、不人気だったそうです。

先日、ワンピースの丈を短くしてもらっために、洋服のお直し店へ行きました。すると、男性の方が対応してくれました。いろいろな分

かりやすく説明してくれたので、お母さんが

「とてもかわいいですね。昔から裁ほうが好きなのですか。」

と聞いていました。小学生のころから、得意で、学校へ持っていく体操服入れやシューズ、バッグを自分で作っていたと教えてくれました。私がすごいと思っていたら、昔は男のくせに裁ほうが好きなんて、変だとバカにされていたそうです。でも、好きなことをつらぬいて仕事にしているのだから、やっぱりすごいなと思いました。私は、お母さんたちや店の人の同級生のような男だから女だからという考えを持つ人を少しでも減らしたいです。そして、自由に堂々と好きなことが自分で選べるような世の中になってほしいです。

このように男の子がやりそうなもの、女の子がやりそうなものというイメージは、他にもあります。世界に比べて日本の女性閣僚はとても少ないです。また日本は、男女格差ランキングで、百四十六か国中百十六位です。そんななか、フランスやカナダでは、閣僚の

半分ほどが女性でいいなと思いました。

私には夢があります。それは、大きくなったら国の先頭となって、女性だから男性だからといって男性よりも低い地位で見られるような世界をなくすることです。日本は、男の方が上という、古い考えを捨てて、社会の変化に合わせて新しくしていけばよいと思います。そうすれば、これまで以上に住みやすい国になると思います。性別を関係なくするためのかぎとなるのは、みんなの協力だと思います。

みんなの变えたいという気持ちは少しずつ世界を変えろと思います。

私は、夢をかなえて新しい社会をつくるために、日本だけではなく海外でも勉強したいと思っています。なぜなら、海外では男性と女性の差があまりなく、一人一人の女性が国のトップの仕事に就いたり、責任者になったりして輝いているところも見れるからです。そのため、今は英語を中心に、いろいろな勉強を頑張りたいです。